

2016年3月期 業績予想の修正に関する 説明資料

2015年10月21日

株式会社 IHI



1. 2016年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(億 円)

	2016年3月期業績予想					(参考)2015年8月4日公表見通し				
	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益
第2四半期 連結累計期間 (増減率)	—	6,800 -2.9%	0 -100.0%	▲ 40 -128.6%	▲ 40 -166.7%	—	7,000	200	140	60
通 期 (増減率)	16,000 0.0%	15,800 0.0%	500 -33.3%	380 -39.7%	180 -53.8%	16,000	15,800	750	630	390

(前提) 為替レート(2015年10月～2016年3月): USD=115円, EUR=130円(変更なし)

2. 2016年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(億 円)

	第2四半期連結累計期間			増減の理由
	8月公表	今回公表	増減	
売上高	7,000	6,800	▲ 200	—
営業利益	200	0	▲ 200	【営業利益】 ①売上増減 ▲50億(陸船用原動機▲10, 橋梁▲25, 物シ▲5他) ②採算変動 ▲240億(ボイラ▲20, ガスプロ▲10, F-LNG・海洋構造物▲200, 橋梁▲20他) ③為替変動 +50億 ④販管費 +40億
経常利益	140	▲ 40	▲ 180	【経常利益】 ①営業利益 ▲200億 ②純金利 +10億 ③持分法投資損益 +10億
親会社株主に帰属する四半期純利益	60	▲ 40	▲ 100	【親会社株主に帰属する四半期純利益】 ①経常利益 ▲180億 ②法人税等 +80億

3. 2016年3月期通期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(億 円)

	通期		
	8月公表	今回公表	増減
受注高	16,000	16,000	0
売上高	15,800	15,800	0
営業利益	750	500	▲ 250
経常利益	630	380	▲ 250
親会社株主に帰属 する当期純利益	390	180	▲ 210

増減の理由
—
—
【営業利益】 ①売上増減 ▲60億(陸船用原動機▲20, ボイラ▲10, 物シ▲10, 車過▲10他) ②採算変動 ▲250億(ボイラ▲40, ガスプロ▲10, F-LNG・海洋構造物▲230, 調整+30) ③為替変動 +40億 ④販管費 +20億
【経常利益】 ①営業利益 ▲250億
【親会社株主に帰属する当期純利益】 ①経常利益 ▲250億 ②法人税等 +40億

為替レート		8月公表	今回公表	増減
		米ドル	115	115
	ユーロ	130	130	0

4. セグメント別 売上高・営業利益 (第2四半期連結累計期間)

(億 円)

	8月公表		今回公表		売上高	営業利益
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
資源・エネ・環境	2,100	60	2,100	50	0	▲ 10
社会基盤・海洋	800	▲ 110	650	▲ 350	▲ 150	▲ 240
産シ・汎用機械	1,900	40	1,900	40	0	0
航空・宇宙・防衛	2,100	270	2,150	310	50	40
報告セグメント計	6,900	260	6,800	50	▲ 100	▲ 210
その他	300	▲ 10	250	0	▲ 50	10
調整	▲ 200	▲ 50	▲ 250	▲ 50	▲ 50	0
合計	7,000	200	6,800	0	▲ 200	▲ 200

	営業利益増減要因				
	売上増減	採算変動	為替変動	販管費	計
資源・エネ・環境	▲ 10	▲ 30	20	10	▲ 10
社会基盤・海洋	▲ 25	▲ 220	0	5	▲ 240
産シ・汎用機械	▲ 15	0	0	15	0
航空・宇宙・防衛	0	10	30	0	40
報告セグメント計	▲ 50	▲ 240	50	30	▲ 210
その他	0	0	0	10	10
調整	0	0	0	0	0
合計	▲ 50	▲ 240	50	40	▲ 200

主要増減理由の説明

【資源・エネ・環境】

売上増減▲10: 原油安による陸船用原動機の減収の影響他

採算変動▲30: ボイラ一部工事の追加費用の発生他

【社会基盤・海洋】

売上増減▲25: 橋梁工事の売上期ずれ

採算変動▲220: 海洋事業の採算悪化, 国内橋梁のコスト先出し

【産シ・汎用機械】

売上増減▲15: 中国経済の減速, 欧州経済の低迷, 一部工事の完成期ズレの影響

5. セグメント別 受注高・売上高・営業利益(通期)

(億 円)

	8月公表			今回公表			増減		
	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
資源・エネ・環境	5,300	4,800	310	5,300	4,800	240	0	0	▲ 70
社会基盤・海洋	1,400	1,800	▲ 80	1,400	1,800	▲ 310	0	0	▲ 230
産シ・汎用機械	4,300	4,300	140	4,200	4,100	120	▲ 100	▲ 200	▲ 20
航空・宇宙・防衛	4,800	4,700	430	4,900	4,900	470	100	200	40
報告セグメント計	15,800	15,600	800	15,800	15,600	520	0	0	▲ 280
その他	700	700	20	700	700	20	0	0	0
調整	▲ 500	▲ 500	▲ 70	▲ 500	▲ 500	▲ 40	0	0	30
合計	16,000	15,800	750	16,000	15,800	500	0	0	▲ 250

	営業利益増減要因				
	売上増減	採算変動	為替変動	販管費	計
資源・エネ・環境	▲ 30	▲ 50	10	0	▲ 70
社会基盤・海洋	0	▲ 230	0	0	▲ 230
産シ・汎用機械	▲ 30	0	0	10	▲ 20
航空・宇宙・防衛	0	0	30	10	40
報告セグメント計	▲ 60	▲ 280	40	20	▲ 280
その他	0	0	0	0	0
調整	0	30	0	0	30
合計	▲ 60	▲ 250	40	20	▲ 250

主要増減理由の説明

【資源・エネ・環境】

売上増減▲30:原油安による陸船用原動機の減収の影響他

採算変動▲50:ボイラー部工事の追加費用の発生他

【社会基盤・海洋】

採算変動▲230:海洋事業の採算悪化

【産シ・汎用機械】

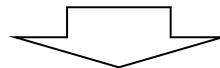
売上増減▲30:中国経済の減速, 欧州経済の低迷, 一部工事の完成期ズレの影響

6. F-LNG・海洋構造物事業について(1/2)

(1) F-LNG・海洋構造物事業における採算悪化

- 2015年度第2四半期に発生した採算悪化要因

- ・シンガポール向けドリルシップ船体建造工事で、図面改正や工程混乱の継続に対応するための追加リソースの投入に伴う設計費や加工費の増加
- ・ノルウェー向けFPSO船体建造工事で、海外外注先と詳細な作業内容を確認する中で、物量増加に伴う調達コストの大幅な増加が発生するとともに、これに伴う建造工程遅延に対応するためのキャッチアップ費用の増加
- ・上記の影響により、LNG船用SPBタンク建造工事でリソース不足が発生しないよう、これに対応するための費用の織り込み



- 2014年度第3四半期以降の悪化は、愛知工場の工程混乱の連鎖が主たる要因
- これに対し、シンガポール向けドリルシップ船体建造工事は、工事進捗が進み工程終盤にある
またノルウェー向けFPSO船体建造工事は、今回、建造工程遅延リスクを工事原価総額に織り込んだ

6. F-LNG・海洋構造物事業について(2/2)

(2) 対策

- 2015年7月より、人材の補強と管理体制モニタリング強化に向けて、コーポレート主導の施策(IHIグループの部門を超えた技術者・専門家の配置や、モニタリング強化のための人材補強など)を実施、加えて、LNG船用SPBタンク建造工事のリソースを確保するためのグループ会社を含めた支援の実施
- 今年度より新規受注を中止しており、手持ち工事の完遂に注力することで、業績下振れリスクを最小化
- 上記施策の実行力の強化を図る目的で、10月21日付けで、次の役員人事を実施するなど執行体制を強化

氏名	新役職	旧役職
出川定男	代表取締役副社長 副社長執行役員 社長補佐 グループ技術全般担当 情報システム関連事項担当 社会基盤・海洋事業領域担当 海洋・鉄構セクター長	代表取締役副社長 社長補佐 グループ技術全般担当 情報システム関連事項担当
安部昭則	取締役 社長特命事項	取締役 常務執行役員 社会基盤・海洋事業領域担当 海洋・鉄構セクター長 (兼)ソリューション統括本部長

IHI

Realize your dreams

ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。